

浮遊アンモニア除去評価試験

目的

試験品によって 1L 空間のアンモニアに対する除去効果を評価する。

試験方法

- ①試験機関：株式会社フジコー技術開発センター
- ②識別番号：—
- ③試験種類：吸着
- ④対象分類：におい成分
- ⑤試験対象：アンモニア
- ⑥試験品：消臭除菌グッズ：KC-S01（キラ・クリーン）
- ⑦試験条件：チャンバー容積（1L）
：作用時間（1分、5分、10分、20分）
- ⑧試験方法：1L 試験空間内でキラ・クリーンを静置し経過時間ごとにアンモニア濃度を測定

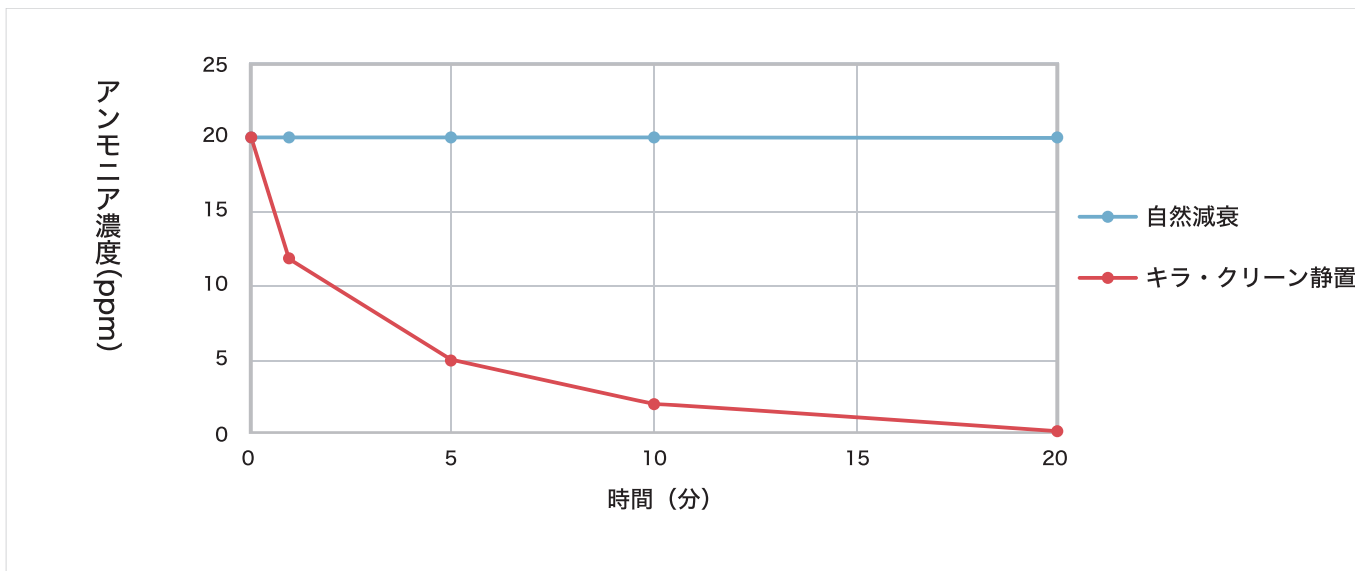
試験結果

KA-PT01 による経過時間ごとのアンモニア濃度を示した。

経過時間ごとのアンモニア濃度

単位：ppm

	0分	1分	5分	10分	20分
自然減衰	20	20	20	20	20
キラ・クリーン静置	20	12	5	2	0



自然減衰は20分後に20ppmと初期濃度と変わらないのに対し、キラ・クリーンを静置させた場合は20分後にアンモニアは0となったことを確認した。

減少率が90%となる時間は10分後であった。

参考:実際の汗のアンモニア濃度は1.5ppm程度。

注) 研究試験データであり、実使用環境での効果を示すものではありません。